

図書館通信

市貝町立図書館

〒321-3423

栃木県芳賀郡市貝町市塙147

Tel 0285-68-4380

URL <https://www.library.ichikai.tochigi.jp/>



ホームページはこちら



8月のイベント

感染症対策のためサービスを制限しています。
サービスの変更・再開・イベントを中止する場合はホームページやtwitterで随時お知らせします。

●スタンプ集めて輪投げにチャレンジ!

期間：8月30日（火）まで

内容：資料を3点以上借りてもらえるスタンプ（1日1回）を3つ集めて輪投げにチャレンジすると景品がもらえます。お気軽にご参加ください。

●夏休み司書体験

日時：8月5日（金）10:30～12:00

内容：図書館のお仕事を体験します。

対象：申込された方



●しょうちゃんと遊びま専科

「作って遊ぼうねらってポン！」

日時：8月6日（土）10:30～12:00

内容：しょうちゃんと一緒に工作を楽しみます。

対象：申込された方

●ダンボの会のおはなし会

日時：8月28日（日）10:30～（50分程度）

内容：ボランティアによる絵本の読み聞かせです。手遊び・ペープサートなどご家族で楽しめます。

対象：乳幼児～小学校低学年

※状況により人数制限あり

お問い合わせ：市貝図書館 ☎68-4380

★歴史民俗資料館のイベント

第48回企画展・県博物館共催展

「楽しく学ぼう！昆虫の世界」

期間：8月28日（日）まで

※休館日は図書館に同じ

内容：国内外や町内で見ることのできる昆虫を分かりやすく紹介します。

お問い合わせ：中央公民館 ☎68-0020



ツイッターでも
情報配信中!



市貝町立図書館

『いっとくん』

@ittokun_ichikai



★開館時間 9:00～19:00★

7月・8月は9:00からの開館となります。
朝の涼しい時間帯もぜひご利用ください。



★2階学習コーナーの利用について★

- ・カウンターで指定席券をお渡しします。
※場所の希望はできません。
- ・夏期（6月1日～10月2日）は、水分補給用の飲み物（ふた付きのみ）の持ち込みができます。現在、飲食スペースの利用を中止しています。
- ・長時間席を空ける場合はほかの方に譲ってください。

たくさんの方が利用できるようご協力をお願いします。



★芥川賞・直木賞決定★

7月20日に第167回芥川賞・直木賞（2022年上半期）の受賞作が決定しました。図書館では、1階新刊コーナー奥に受賞作のコーナーを設けています。受賞作・候補作あわせてぜひ読んでみてください。

【芥川賞】

「おいしいごはんが食べられますように」

高瀬 隼子 // 著（講談社）

【直木賞】

「夜に星を放つ」

窪 美澄 // 著（文藝春秋）



図書館カレンダー

8月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31※			

9月 9:30～19:00

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30※	

☐ …休館日

※月末資料整理日

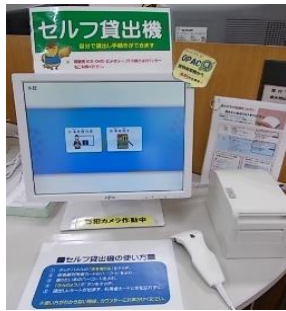
★「セルフ貸出機」が ご利用いただけます★

1階の図書検索機（OPAC）に「セルフ貸出」の機能が追加されました。もうお試しになりましたか？ご自身で本の貸出ができます。

（CD・DVD・予約資料の貸出はカウンターのみ）

今までの「資料検索」やログインして「貸出状況の確認」「パスワードの変更」などは引き続きご利用いただけます。

使い方などわからないことがありましたら、お気軽にスタッフまでお声がけください。



★読書会 参加者募集★

テキスト本をゆっくり読んでいただき、感想などを自由に語り合う「読書会」の参加者を募集します。（テキストは図書館で用意します）

日時：11月3日（木・祝）10:00～11:30

定員：5名 ※希望者が2名以下の場合は中止

対象：読書好きの一般の方（利用者カードがある方）

申込方法：カウンター・お電話

申込期間：8月2日（火）～9月11日（日）

使用テキスト

「まぼろ駅前多田便利軒」

三浦 しをん // 著（文藝春秋）

「麒麟の翼」

東野 圭吾 // 著（講談社）

「おらおらでひとりいぐも」

若竹 千佐子 // 著（河出書房新社）

のいずれか1冊

「暑さ・厚さ・熱さに負けない本」

「すいかの匂い」

江國 香織 // 著

（新潮社）

「すいかを食べると思い出すことがある。」主人公の子ども頃の思い出。母親の出産のあいだ、叔母の家に預けられた9歳の夏。両親と離れて過ごすはじめての体験。夕方になると自分の家に帰りたい気持ちがからだの奥からつきあげてくる田舎の生活。「逃げよう」ひたすら歩き続け、川の向こうにあるあかりをたよりに、母親と二人の男の子が暮らす家に辿り着く。そこで見た不思議なできごと。

うだるような暑さのなか、ちょっとひんやりするお話。自分の中で忘れかけていた幼い頃の夏の記憶がふと鮮やかに蘇えてくる、そんな一冊です。

（スタッフ：チョコ丸）



「酵素いきいき生甘酒」

是友 麻希 // 著

（主婦の友社）

最近スーパー等でも目にするようになった甘酒ですが、「飲む点滴」と言われるほど栄養豊富な飲み物だということを知っていましたか？江戸時代には甘酒屋さんが町で売り歩くほどで、夏バテ予防や体力回復に欠かせない栄養ドリンクだったそうです。

甘酒に必要な材料は「米麴」と「お湯」だけ。これを混ぜて適温を保てば4時間位でできるよう。火入れされた市販の甘酒と比べ「生」の甘酒は酵素やビタミンが失われないので、健康や美容への効果がかなり期待できます。

本書は生甘酒の作り方以外に甘酒を使ったレシピも紹介されています。年々夏の暑さ記録更新を続けている昨今、暑さに負けない体づくりに生甘酒を試してみたいかですか。

（スタッフ：みるく姫）



しょうちゃんのひとりごと



図書館では地元紙である「下野新聞」はじめ、朝日・読売・毎日・産経・日経・日刊スポーツ新聞と7社の新聞を毎日購読しています。新聞にはいい情報がたくさん詰まっています、切り抜くために読むと充実していることが良く分かります。町の話や気になった記事を切り抜いてノートにセレクトするだけでも意味があり、印象に残ります。話題が増え、時事問題についても話ができるようになります。続けていると、ニュースの定着具合が良くなり、「このことだったんだ」と頭に入ってくるようになります。「新聞に書いてあったけど」「新聞で読んだけど」というフレーズを使うだけでも、知の在り方が自ずと変わってきます。学生さんたちには、入試の小論文対策や毎日の学習習慣としても身につけてくるのではないのでしょうか。毎朝配達される新聞を読むのは基礎体力をつけるようなもので、毎日5キロ走るのと同じ、知の健康状態を保つことができると思っています。ネットが新聞の代わりになるという意見がありますが、一般の人が書いた感想と、責任ある記事で紙面を作る新聞とは全く違います。10代のうちに慣れて「新聞を味方につけよう」という心構えを今から身に付けることが、私の体験から推奨できると考えていますが如何でしょうか。

お問い合わせ 市貝図書館 ☎68-4380

スタッフのおすすめ

スタッフのおすすめ